

令和2年度 社会福祉法人 村上市社会福祉協議会事業実施報告

I 事業実施の概要

- (1) 令和2年度は、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症により、私たちの暮らしや生活スタイルが一変し、今もなお感染拡大の終息が見えない状況にある。コロナ禍により、地域の茶の間などの地域福祉活動やボランティア活動は活動自粛を余儀なくされる状況になった。
- (2) これまで経験したことのないコロナ禍のなかで、住民とのつながりを絶やさず、コロナ禍の困難を共に乗り越えようと「みんなの思いをつなげようプロジェクト」や「必要な人に手作りマスクを届けようプロジェクト」など「新しい生活様式」の対応事業に取り組んだ。また、生活支援体制整備事業(互近所ささえ隊)では、地域の生活支援・介護予防サービス提供体制の構築を目指して隊員、コーディネーターとして住民・関係機関と連携し説明会・座談会等を開催した。
- (3) コロナ禍による休業や失業で、一時的又は生活再建までの生活資金が必要な世帯に向けた生活福祉資金特例貸付(緊急小口資金及び総合支援資金)及び相談が急増した。家計の改善や就労支援が必要な世帯に対しては、生活困窮者自立支援事業に繋いで継続支援を行った。初めて開催した市民後見人養成講座は、受講者11名全員が全課程を修了し市民後見人として登録した。
- (4) 介護事業については、職員への注意喚起や新型コロナウイルス感染症対策を徹底した結果、クラスターも発生することなく、在宅サービスを継続提供することができた。通所介護事業については、コロナ禍のため利用の手控え、家族等の県外往来による利用中止などにより、大幅な利用者の減少となったが、訪問介護事業、訪問入浴事業は、営業の努力により、訪問時間数や訪問回数が前年度より増加した。その結果、通所介護事業を除く他の介護事業は経営改善が進んだ。
- (5) ゆり花会館事業については、コロナ禍による2ヶ月間の休業、その後の給水設備の故障・修繕工事のため約4ヶ月間の入浴業務の中止となり、利用者的大幅な減少により利用料が大幅な減収となったが、コロナ禍の休館・給水設備漏水改修工事・温泉源配電盤故障工事の補填等の指定管理料が増額された。
- (6) 人事・労務については、臨時職員(嘱託職員・準職員・パート職員)の処遇改善の実施、正規職員については令和3年度の給与改善の規則改正をし、人材育成の基本となる人材育成方針を定めるとともに、職員の意識や社協経営の理解を把握する職員意識アンケートを実施した。

以下、各事業について報告する。

《職員体制》 (令和3年3月31日現在)

職員総数 **243名** (前年度比 +7名)

単位:名

部署	事務員			介護支援専門員		介護員・生活相談員		看護師		栄養士・調理員		運転員・労務員		計		
	特別職	正規職員	臨時	正規職員	臨時	正規職員	臨時	正規職員	臨時	正規職員	臨時	正規職員	臨時	特別職	正規職員	臨時
法人	6	9	13											6	9	13
居宅介護支援				14	1									0	14	1
訪問介護						11	14							0	11	14
訪問入浴						1	1	1						0	2	1
通所介護						24	40	5	3	4	2		2	0	33	47
福祉センター			5											0	0	5
計	6	9	18	14	1	36	55	6	3	4	2	0	2	6	69	81
	33			15		91		9		6		2		156		
パート職員	2					33		22		11		19		87		
合計	35			15		124		31		17		21		243		
前年度末比較	±0			△1		+7		+1		+1		△1		+7		

※ 臨時職員については嘱託職員、契約職員、準職員とし、パート職員は別区分。

※ 兼務職員については、主たる部署・職種に掲載。

II 事業実施報告

〈総務課〉

☆目標

・「地域福祉の推進」を命題に、多様な課題解決に向けて理事会・評議員会及び業務推進会議等が柱となって社会福祉協議会の基礎整備を図る。

◎重点取組事業

(1) 組織の充実・強化

① 業務改善・各課との連携強化

・業務推進会議(9人)

7月17日	第1回業務推進会議	9名
10月21日	第2回業務推進会議	9名
1月21日	第3回業務推進会議	7名

(協議事項)

- ・経営改善の提言書の進捗管理について
- ・職員研修計画について
- ・次年度予算の収支ゼロを目指した方策について

・課、支所担当者連絡会議

- ・7月1日 支所地域福祉課事業連絡会

・各種職員会議

居宅介護支援事業部会	8 回開催
訪問介護事業部会	6 回開催
訪問入浴介護事業部会	1 回開催
通所介護事業部会	14 回開催
通所介護事業 生活相談員部会	2 回開催
通所介護事業 看護師部会	2 回開催
通所介護事業 介護員部会	1 回開催

② 理事会・評議員会

・理事会(理事11名(欠員1名)、監事2名)

日程	主な議件	場所	参加人数
6月10日	・副会長の選任 ・令和元年度事業実施報告、収支決算 ・令和2年度 定時評議員会の開催日程 ・次期評議員候補者の推薦	クリエート村上	12名
11月12日	・令和2年度補正収支予算(第1号) ・令和2年度 第2回評議員会の開催日程 ・定款施行細則の制定 ・組織運営に関する規則の廃止 ・評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正 ・未収金等徴収不能欠損処理	村上市役所	13名
1月27日	・第3回評議員会の開催日程 ・規則の一部改正(8件)	クリエート村上	13名
3月17日	・令和2年度補正収支予算(第2号) ・令和3年度事業計画 ・令和3年度収支予算 ・欠員理事候補者補充選任 ・部会規程の制定 ・規程の一部改正(14件)	クリエート村上	12名

・評議員会(20名)

日程	主な議件	場所	参加人数
6月29日	・令和元年度事業実施報告、収支決算	クリエート村上	17名
11月25日	・令和2年度補正収支予算(第1号)	クリエート村上	17名
3月29日	・令和2年度補正収支予算(第2号) ・令和3年度事業計画 ・令和3年度会計収支予算 ・理事の選任	クリエート村上	16名

- ・正副会長会議 5回 (7/22、9/25、10/27、1/13、3/9)
- ・監査会 5月24日
- ・事務局長・課長等会議 6回 (4/4、5/20、12/22、1/5、2/12、3/5)

③ 職員のモチベーションアップ

- ・正規職員の給与改善の検討…R3年度改定に向けて検討を行い、規則改正。
- ・嘱託職員・準職員(臨時職員)の処遇改善…手当関係を正規職員と同待遇に改善。
- ・福利厚生の実施…福利厚生センター「ソウェルクラブ」に正規職員並びに社会保険加入の臨時職員に対して、継続加入。
- ・介護事業所職員へのユニフォーム貸与。

④ 会計事務

外部会計士の指導 4回

⑤ マイクロバス管理事業

- ・マイクロバス(26人乗り)の無償利用(燃料費・運転代行料は自費負担)
- ・利用団体

村上市身体障害者団体連合会	1回
村上市民生委員児童委員協議会連合会	2回
社協事業(昼食会等)	3回
合 計	6回

(前年度比 △28回)

⑥ ゆり花会館の指定管理事業

年間利用者数 16,384名 (前年度比 △42,302名)

※4月1日～5月31日休館 コロナ禍のため

※6月16日～10月20日休館 給水設備漏水改修工事・温泉源配電盤故障工事のため(貸館事業は実施)

⑦ 苦情解決 第三者委員による苦情受付 0件

(2) 人材育成(4課共通)

① 人材育成方針 村上市社協職員の人材を育成するための基本となる人材育成方針を定めた。(R2.7.28)

② 職員研修・人事考課

- ・職員研修 県社協の研修事業を利用し、研修を実施した。
- ・人事考課制度の実施

内 容	業績考課と情意考課
対象者	正規職員、嘱託職員、契約職員、準職員
- ・職員意識アンケート調査の実施 1/7～1/22 回収枚数 214枚
仕事へのやりがい、職場環境、研修・人事制度などについて職員の意識、当社協の経営についての理解等を調査し、今後の人材育成に活用する。

(3) 財政基盤の強化

① 会費

会員の加入状況

会員種別	会員数	前年度比
一般会員	13,714件	△ 93件
個人賛助会員	720件	△57件
企業等賛助会員	315件	△46件
団体賛助会員	16件	+9件
計	14,765件	△ 187件

② 公費助成

公費種別	内容	補助金額
経常経費補助金(共募除く)	法人人件費等	86,951,229円
受託金	受託事業(市・県)	49,213,211円

③ 基金の運用

基金種別	内容	金額
社会福祉基金	地域福祉事業の実施等	9,028,889円
事業運営安定積立金	経営安定化	46,000,000円

(4) 広報啓発事業の充実

① 広報紙の発行およびホームページの充実

	内 容
広報紙「社協むらかみ」	6回発行(偶数月15日付で全戸配布)
ホームページ	リニューアル化を10月に実施した。 12,883 カウント(R2.4.1~R3.3.31) (前年度比+292カウント)

バーナー広告掲載 1件

② ふれ愛フェスティバル(村上地域社会福祉大会及び福祉まつり)

コロナ禍のため、中止。

ふれ愛フェスティバルに代わるものとして、「みんなの思いをつなげようプロジェクト」

(地域福祉課に詳細報告)を実施した。

③ 新潟県民福祉大会への参加

○期日 10月14日

○会場 新潟市

○内容 「福祉大会式典」

「記念講演」:藤田紘一郎さん

「イキイキ長寿健康法 ー免疫力を高める生活習慣ー」

○参加者 11名

○その他 表彰2名

(5) 災害時の事業継続に向けた取り組み(4課共通)

① 事業継続計画(BCP)

事業継続計画(BCP)についての研修への参加、内部協議を行うための資料を収集した。

② 新型コロナウイルス感染防止にかかる対応

- ・コロナ関連については、適時職員向けに通知により周知した。
- ・新潟県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金
28,980千円(慰労金10,205千円、その他18,775千円)
- ・市内学生応援フードパントリー事業(大学・専門学校)への協力 4日間

(6) 「経営改善に資するための提言書」の推進(4課共通)

- ・「経営改善に資するための提言書」に従い業務を推進した。
- ・R2年度実施状況は別紙報告書のとおり。

《地域福祉課》

☆目標

「誰もが安心して暮らすことができるまち」を目指して、地域での支えあい広がるよう、多様な関係機関と連携し、住民主体の包括的な体制づくりを進める。

◎重点取組事業

(1) 住民相互の支えあい活動の推進

① 暮らし支えあい事業

- ・会員数

	登録者数	実利用者数	利用回数
利用会員	349名(+46名)	92名(+12名)	2,048回(+297回)
	登録者数	実活動者数	
協力会員	130名(+18名)	54名(+3名)	(前年度比)

- ・職員相談等訪問 296件
- ・電話相談等対応 1,019回
- ・協力会員研修会

10月2日	協力会員研修会	24名
-------	---------	-----

② 「地域の茶の間」推進・支援事業

支所	設置数	支所	設置数
村 上	41カ所	朝 日	23カ所
荒 川	23カ所	山 北	6カ所
神 林	22カ所	計	115カ所
		前年度比	△3カ所

※コロナ禍のため、平均で予定の50%以下の開催率。

- ・レクリエーション・講話等支援活動 13カ所
- ・地域の茶の間研修会 11月19日(介護予防講演会)76人
- ・コロナ禍での開催状況把握のためのアンケート調査を実施
- ・「新しい生活様式」を踏まえた開催のお願いを全ての「茶の間」に発送

③ 地域福祉推進事業【「地域福祉会」の支援(荒川地区)】

地域福祉会(24団体)で見守り活動等実施 3団体…コロナ禍で活動中止
 6月27日 長政座談会
 1月13日 説明会

- ④ みんなの思いをつなげようプロジェクト(笑顔の写真 / タイムカプセル / 巨大貼り絵)
- プロジェクトチーム会議 4回
 笑顔の写真 30点
 タイムカプセル 173点(令和5年ふれ愛フェスティバルに展示予定)
 巨大貼り絵(みんなの思い 一つの作品に) 1,351のメッセージ(121団体)
 巨大貼り絵作成 2月25日～26日 ボランティア7名
 公開式典 3月11日 87名 村上市民ふれあいセンター

- ⑤ 生活支援協議体、生活支援コーディネーター業務
- 第1層村上市生活支援協議体(生活支援コーディネーターを市より受託)
- ・第1層協議体会議 会議3回
 - ・生活支援コーディネーター・包括支援センター打合せ 11回
 - ・村上市内生活支援コーディネーター情報交換会 1月8日
 - ・生活支援協議体・生活支援コーディネーター合同研修 3月16日
 - ・関係機関主催の会議、研修会等 44回
- 第2層村上地区生活支援協議体(生活支援コーディネーターを市より受託)
- ・生活支援コーディネーター・包括支援センター打合せ 11回
 - ・自治・団体等での座談会・説明会等 74回
- 第2層生活支援協議体隊員(互近所ささえ～る隊)
- ・村上地区協議体会議 会議3回
 - ・荒川地区協議体会議 会議3回
 - ・神林地区協議体会議 会議2回
 - ・朝日地区協議体会議 会議5回(移動支援(実験)活動 1回、集落座談会3回等)
 - ・山北地区協議体会議 会議3回

(2) 要支援者の在宅福祉サービスの充実

① 配食サービス事業(市受託事業)

支所	実施回数	実利用者数	配食数
神 林	98回	40名	2,757食
前年度比	△2回	△6名	△589食

② 一人暮らし等高齢者給食会

支所	実施回数	参加者数	支所	実施回数	参加者数
荒 川	-	-	朝 日	1回	28名
神 林	1回	34名	山 北	-	-
			計	2回	62名
			前年度比	△3回	△131名

※ 荒川・山北は、コロナ禍のため中止

③ 歳末たすけあい運動による「おせち料理」の配食

12月30日 民生委員及び区長の協力により実施

1～2月に、各地区民児協役員から事業継続に関するヒアリング実施

○一人暮らしおよび高齢者世帯

支所	一人暮らし世帯	高齢者のみ世帯	計
村 上	481食	338食	819食
荒 川	127食	108食	235食
神 林	104食	67食	171食

朝 日	127食	88食	215食
山 北	187食	120食	307食
計	1,026食	721食	1,747食
前年度比	+81食	+136食	+217食

○障がい者世帯

支所	計	支所	計
村 上	48食	朝 日	20食
荒 川	8食	山 北	12食
神 林	10食	計	98食
		前年度比	△5食

④ 移送サービス事業(市受託事業)

支所	利用者数	延利用回数
朝 日	16名	80回
前年度比	△7名	△55回

⑤ ほのぼのお便り事業

支所	暑中見舞い	年賀状	バースデーカード
荒 川	—	290枚	—
神 林	204枚	209枚	—
朝 日	105枚	102枚	81枚
計	309枚	601枚	81枚
前年度比	△38枚	△4枚	△39枚

⑥ 高齢者等除雪費援助事業(市受託事業)

支所	利用世帯数	延利用回数	支所	利用世帯数	延利用回数
村 上	11世帯	12回	朝 日	119世帯	126回
荒 川	1世帯	2回	山 北	70世帯	79回
神 林	4世帯	5回	計	205世帯	224回
			前年度比	205世帯	224回

・各地区の民生委員児童委員への説明会実施 ※前年度、暖冬・小雪のため実績なし

⑦ 生きづらさを抱えた人の居場所づくり(地域共生)事業(令和2年度より市受託事業)

○事業概要

対象者:ひきこもり、コミュニケーションをとることが苦手な人など生きづらさを抱えた人

会場:村上桜ヶ丘高等学校同窓会館

開催日:週2回(水・土)

○利用者

	開催日数	実利用者数	延利用者数	新規利用者数
みつば	96日	33名	677名	18名
前年度比	75日	7名	529名	10名

○研修等

・居場所運営職員研修会 8月25日

・関川村地域共生居場所「つなぐ」視察 9月11日

・居場所運営・個別支援研修 新潟市「イツモノトコ」視察 11月24日

・関川村・関川村社協視察受入れ 11月28日

⑧ 手話奉仕員・要約筆記派遣事業(市受託事業)

○派遣事業

手話奉仕員派遣	12件	要約筆記派遣	0件
前年度比	△22件	前年度比	△2件

○手話奉仕員養成講座(基礎課程)

9/18 ~ 12/9(全24回)	参加者数	2名
	前年度比	△1名

⑨ 視覚障がい者支援事業(音声による広報等 録音活動)

31回	前年度比	+1回
-----	------	-----

⑩ 車イス貸出事業

延利用回数	69回	前年度比	△19回
-------	-----	------	------

⑪ 福祉車両貸出事業

保管場所	実利用者数	延利用回数
地域福祉課	14名	23回
前年度比	+3名	△13回

⑫ 理・美容費助成サービス

○高齢者

支所	利用者数	利用回数	支所	利用者数	利用回数
村 上	209名	417回	朝 日	40名	79回
荒 川	44名	106回	山 北	7名	17回
神 林	59名	148回	計	359名	767回
			前年度比	+35名	△62回

○障がい者

支所	利用者数	利用回数	支所	利用者数	利用回数
村 上	2名	4回	朝 日	2名	8回
荒 川	2名	5回	山 北	1名	3回
神 林	0名	0回	計	7名	20回
			前年度比	+1名	+1名

⑬ 敬老会委託事業

支所	助成町内	延利用者数
村 上	112ヵ所	5,497名
前年度比	±0ヵ所	△92名

※1人当たり1,500円助成

⑭ その他

生活困窮者支援調整会議(村上市)	11回
村上市ひきこもりワーキング会議 (村上市)	3回

(3) ボランティアセンターの機能充実

① ボランティアの基盤整備

○ボランティア登録者数

支所	個人	団体		登録者計
		団体数	人数	
村 上	184名	42団体	989名	1,173名
荒 川	33名	12団体	282名	315名
神 林	36名	5団体	123名	159名
朝 日	134名	22団体	223名	357名
山 北	22名	3団体	42名	64名
計	409名	84団体	1,659名	2,068名
前年度比	+23名	±0団体	△10名	+13名

② ボランティアの活動支援

・必要な人に「手作りマスク」を届けよう！プロジェクト

5月1日～25日手作りマスク募集 ボランティア4団体、個人15名

…807枚作成し、市内小学校12校、放課後等デイサービス4施設に配布

- ・国配布のマスク回収…558枚取りまとめ 希望した市内の小中学校5校に配布
- ・学校支援ボランティアアンケート 市内小中学校13校に実施
- ・点字通訳ボランティア(2回)
- ・一人暮らし等高齢者昼食会(1か所)
- ・朝日お便りボランティア
- ・神林配食サービスボランティア
- ・おもちゃの病院(放課後子ども教室4日、小学校学年行事1校)

③ 各種ボランティア講座の開催

○研修会・会議等の開催・参加

書面審議	「朝日地区ボランティア連絡協議会」総会
書面審議	「声のボランティア村上」総会
6月23日	「村上地区ボランティア連絡協議会」総会
11月 5日	「朝日地区ボランティア連絡協議会」会員交流(健康づくり)
12月 2日	ボランティア講座
年間4回	ボランティア説明会
年間10回	「おもちゃの病院」開院日
年間11回	「おもちゃの病院」定例会

④ ボランティアポイント事業

○登録者数

支所	計	支所	計
村 上	171名	朝 日	101名
荒 川	26名	山 北	22名
神 林	32名	計	352名
		前年度比	+16名

○活動実績

コロナ禍のため、57福祉施設の全施設でボランティアの受入れ中止
送迎ボランティア1団体で活動(54ポイント)

○プリペイドカード交換枚数(5ポイントにつき1枚と交換)

132枚(前年度比△299枚)

○ハッピーボランティアポイント事業検討会 10月5日

⑤ ボランティア保険の加入促進

○団体加入 82団体、920名(前年度比 +3団体、△73名)

○個人加入 5名(前年度比 △4名)

(4) 福祉教育・人材育成事業

① 福祉教育の支援

○高齢者疑似体験装具貸出事業

小学校	4校	中学校	2校	その他	2団体
計					8件
前年度比					2件

○福祉学習実施校

小学校	5校	中学校	2校	その他	0団体
計					7件
前年度比					±0件

② 福祉協力校等支援

・福祉協力校活動支援事業

	小学校	中学校	高校	計
協力校数	14校	5校	2校	21校
前年度比	△1校	±0校	±0校	△1校

③ 職員の講師等の派遣

民生委員児童委員新任者研修会	9月25日
----------------	-------

(5) 福祉団体等支援事業

① 共同募金運動の推進

共同募金配分金助成団体へ、共同募金のしくみ、使われ方等随時周知

・助成交付式…コロナ禍のため中止

② 日本赤十字社活動支援

・町内および集落に回覧物等の掲示板設置事業

掲示板設置件数	0件	(前年度比 △4件)
---------	----	------------

③ 各種団体への支援

・老人クラブ連合会各支部の事務受託ならびに補助支援

・戦没者遺族会の事務受託

・身体障害者団体の事務受託ならびに補助支援

・民生委員児童委員協議会の事務受託ならびに補助支援

・村上市共同募金委員会の事業運営

・日本赤十字社新潟県支部村上市地区の事業運営

・朝日地区ボランティア連絡協議会事業運営ならびに補助支援

・朝日ミニハンディキャブ友の会事業運営

・フードバンク2団体の活動支援(フードドライブ受付窓口)

《生活支援課》

☆目標

- ・ 関係機関と連携して相談支援や権利を擁護するための支援体制の充実を目指す。
- ・ 地域福祉活動計画並びに経営改善計画の課題解決方針に沿って、積極的に取り組む。

◎重点取組事業

(1) 困りごとを気軽に相談できる体制の構築

① 心配ごと相談所事業

○相談件数

	村上	荒川	神林	朝日	山北	計	前年度比
開催回数	40回	10回	37回	43回	10回	140回	△ 10回
相談件数	17件	3件	23件	28件	1件	72件	△ 12件

※コロナ禍のため、4、5月の開催を全地区において中止した。

○心配ごと相談所検討会の実施

	村上	荒川	神林	朝日	山北	計	前年度比
開催回数	9回	2回	1回	4回	1回	17回	1回

○心配ごと相談員研修会の開催

2月4日	荒川地区公民館	参加人数	14名
2月5日	朝日文化会館	参加人数	7名

② 資金貸付事業

1. 生活福祉資金（県社協受託事業）

○相談、貸付件数等

	村上	荒川	神林	朝日	山北	その他	計	前年度比
相談件数	245件	62件	116件	51件	29件	40件	543件	519件
貸付件数	99件	33件	18件	23件	9件		182件	178件
完済件数	3件	0件	0件	0件	0件		3件	△ 1件
3月末現在 貸付件数	139件 (18件)	38件 (2件)	21件 (1件)	27件 (1件)	17件 (6件)		242件 (28件)	173件

※その他：匿名や関係機関からの相談で、個人が特定できない場合

※()内の件数は延滞者

(資金別内訳)

資金種類		計	前年度比
特例貸付※	緊急小口資金	121件	121件
	総合支援資金	54件	54件
福祉資金	福祉費 障害者用自動車購入経費	1件	±0件
	福祉費 住宅移転、給排水設備等経費	0件	△ 1件
	福祉費 その他日常生活必要経費	3件	3件
	緊急小口資金	1件	±0件

※特例貸付は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯を対象とした貸付

総合支援資金	0件	±0件
教育支援資金	2件	1件
合 計	182件	178件

○職員説明会の開催

1月28日 特例貸付事務説明会 参加者 5名

2月2日 特例貸付事務説明会 参加者 1名

2. 小口資金貸付

	村上	荒川	神林	朝日	山北	その他	計	前年度比
相談件数	13件	1件	3件	3件	0件	1件	21件	△14件
新規貸付件数	13件	1件	3件	3件	0件		20件	△6件
完済件数	13件	3件	4件	3件	0件		23件	△10件
3月末現在貸付件数	11件 (8件)	12件 (12件)	1件 (1件)	4件 (2件)	4件 (4件)		32件 (27件)	△17件

※その他:匿名や関係機関からの相談で、個人が特定できない場合

※()内の件数は延滞者

(2) 権利擁護活動の推進

① 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

1. 相談援助件数(問合せ・相談援助件数)

	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	計	前年度比
問合せ(制度、事業について)	7件	3件	1件	1件	12件	3件
職員対応(相談、電話、訪問等)	214件	580件	90件	0件	884件	△336件
合 計	221件	583件	91件	1件	896件	△333件

2. 契約者数

	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	計	前年度比
契約者数	6件	11件	4件	0件	21件	2件
(内、新規契約者数)	1件	1件	2件	0件	4件	2件

3. 生活支援員活動状況

	村上	荒川	神林	朝日	山北	計	前年度比
地区別契約者数	11名	2名	3名	4名	1名	21名	2名
生活支援員数	5名	3名	3名	3名	2名	16名	△1名
支援員活動回数	151回	62回	56回	65回	12回	346回	△17回

② 法人後見事業

1. 地区別、類型別受任状況

類型\地区		村上	荒川	神林	朝日	山北	計	前年度比
3月末現在受任件数	後見	6件	0件	0件	1件	0件	7件	△1件
	保佐	3件	0件	0件	0件	0件	3件	2件
	補助	0件	0件	0件	0件	0件	0件	±0件
合 計		9件	0件	0件	1件	0件	10件	1件

2. その他後見に関すること

	本人・親族	行政機関	関係機関	その他	計	前年度比
問合せ(制度、事業について)	2件	5件	6件	0件	13件	9件
相談援助(申立支援等)	6件	0件	0件	0件	6件	6件
合計	8件	5件	6件	0件	19件	15件

3. 法人後見運営委員会開催

開催日	開催内容
5月21日	新型コロナウイルスの影響により中止
8月21日	審議件数1件、受任状況の報告
11月19日	審議件数1件、受任状況の報告
3月25日	審査件数2件、受任状況の報告

4. 職員の会議・講師等の派遣

日付	派遣内容
8月24日	村上市成年後見制度利用支援体制検討会(2名)
3月18日	村上市成年後見制度利用支援体制検討会(2名)
3月24日	村上市虐待防止ネットワーク会議

③ 市民後見人養成事業(市受託事業)

1. 養成講座受講者等

応募者	受講者	修了者
15名	11名	11名

2. 養成講座の開催

○基礎講座(全5日間)

開催日	受講人数	内容	備考
7月10日	11名	市民後見概論、成年後見制度の基礎	社協職員が講師担当
7月22日	11名	対象者理解①、関係制度・法律	
8月7日	9名	対象者理解②、関係制度・法律	
8月21日	11名	民法の基礎、関係制度・法律	
9月11日	11名	市民後見人の実際	

○実務講座(全4日間)

開催日	受講人数	内容	備考
10月22日	10名	成年後見の実務	
11月6日	10名	対人援助の基礎	
11月20日	11名	家庭裁判所の役割	
12月4日	10名	成年後見の実務	社協職員が講師担当

○実地研修(全2日間) ※社協が講師担当

開催日	受講人数	内容
11月20日	11名	市民後見人について、記録・ファイルの管理方法について
11月27日	11名	後見実務演習、法人後見の支援見学

○補講(全4日間)

開催日	受講人数	内容
8月18日	2名	8月7日欠席分
10月28日	1名	10月22日欠席分

11月11日	1名	11月6日欠席分
12月22日	1名	12月4日欠席分

○選考(全3回)

開催日	内容	選考員
6月12日	受講者選考(書類、作文選考)	6名(うち、社協職員2名)
10月2日	実務講座受講者選考(作文、個別面談)	3名(うち、社協職員1名)
1月15日	最終選考(個別面談)	6名(うち、社協職員2名)

(3) 生活困窮者支援の推進

① 生活困窮者自立支援事業「生活支援センターむらかみ」(市受託事業)

○自立相談支援(家計改善支援、就労準備支援を含む)

相談	件数	前年度比
相談者数	281件	72件

主な支援状況					
制度活用	件数	前年度比	就労状況	件数	前年度比
生活保護	23件	△ 4件	一般就労	13件	±0件
生活福祉資金	115件	110件	福祉就労(A型、B型作業所)	2件	△ 1件
小口資金	15件	△ 5件			
食糧支援	30件	△ 4件			
新潟セーフティーネット事業	1件	△ 2件			
弁護士相談(債務整理等)	19件	3件			

○子どもの学習支援

相談・支援	件数等	前年度比
相談	1件	△1件
利用者	6名	±0名
支援回数	69回	△79回
学習支援員	5名	△1名

※

4月はコロナ禍のため中止
5月は希望者のみ再開
6月は希望者のみ再開

○支援調整会議の開催

	開催回数	前年度比
全体会議	1回	±0回
定例会議	11回	△ 1回

※ 4月はコロナ禍のため中止

○支援調整会議(定例会議)におけるプラン決定・評価の実施状況

	件数	前年度比
プラン作成 ※1	27件	5件
内 新規プラン	21件	4件
内 再プラン	6件	1件
評価 ※2	26件	2件
内 再プラン	6件	1件
内 終結	17件	±0件
内 中断	3件	1件

※1 相談者のうち、支援プランを作成した件数

※2 プラン作成者の支援結果を評価した件数

○課内ケース検討会議 開催回数 36回 検討件数 141件

○職員の講師等の派遣

8月29日	村上地域くらしとこころの総合相談会(第1回)
9月27日	村上地域くらしとこころの総合相談会(第2回)
12月11日	荒川地区民生委員連絡協議会研修会
1月20日	フードバンクむらかみ研修会

《介護事業課》

☆目標

- ・介護保険事業所において円滑な業務を遂行していくために、人材の確保と育成を図りながら、安定した経営に努める。
- ・地域に密着した事業所運営に努める。
- ・住み慣れた我が家で自分らしく暮らし続けることができ、また、本人が望む生活を送ることができるように支援する。
- ・経営改善の検討報告の取り組みを実施する。

◎重点取組事業

(1) 介護保険事業所の安定した運営の確立

① 居宅介護支援事業

事業所	職員数	年間取扱 件数	月平均	法人内サービス 提供件数割合		要介護度別割合		
				訪問	通所	要支援1,2	要介護1,2	要介護3～5
むらかみ	3名	1,267件	106件	72.7%	44.9%	7.4%	58.7%	33.9%
あらかわ	3名	1,104件	92件	56.3%	10.4%	20.8%	50.2%	29.0%
かみはやし	3名	1,151件	96件	78.4%	71.2%	24.3%	44.3%	31.4%
あさひ	4名	1,468件	122件	93.1%	62.6%	22.3%	55.1%	22.6%
さんぼく	2名	735件	61件	78.4%	100.0%	29.1%	53.9%	17.0%
計	15名	5,725件	477件	75.8%	57.8%	20.8%	52.4%	26.8%
前年度比	△1名	△85件	△7件	+0.7%	△1.1%	+0.7%	△0.8%	+0.1%

※職員数は令和3年3月31日現在の数値

- ・新規利用者確保のため、空き情報等関係機関との連携に努めた。
- ・事業所統合については、むらかみとあさひを早期に統合する方針とした。

② 訪問介護事業

事業所	職員数	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間	要介護度別割合		
					要支援1,2	要介護1,2	要介護3～5
むらかみ	11名	69名	9,758回	9,509時間49分	28.3%	55.7%	16.0%
あらかわ	11名	45名	4,546回	4,233時間25分	23.2%	45.4%	31.4%
かみはやし	8名	40名	5,211回	3,925時間51分	22.0%	35.6%	42.4%
あさひ	6名	66名	5,108回	3,919時間21分	25.5%	52.5%	22.0%
さんぼく	5名	38名	2,944回	2,553時間10分	14.0%	70.5%	15.5%
計	41名	258名	27,567回	24,141時間34分	22.6%	51.9%	25.5%
前年度比	+2名	+9名	+1,175回	+1,636時間44分	△3.4%	+3.5%	△0.1%

※職員数は令和3年3月31日現在の数値

・居宅介護支援事業所に訪問可能な曜日や時間を細かく情報提供した。また、訪問回数や時間の多い利用者が中止になった場合には、担当居宅介護支援専門員等へ新規利用者の働きかけを行った。

・ヘルパーステーションさんぽくについては、利用者数の増加や人員配置転換等による人件費の減により収支が改善したこと等から、サテライト化は実施しなかった。

③ 訪問入浴事業

事業所	職員数	稼働日数	実利用者数	年間訪問回数
むらかみ	4名	257日	49名	963回
前年度比	±0名	±0日	+7名	+80回

※職員数は令和3年3月31日現在の数値

・村上市全域に営業区域を広げたことや営業努力により、事業所について浸透・定着し、利用者数の増加となった。

④ 通所介護事業

事業所	職員数	定員	年間延べ利用者数	日平均	稼働日数	要介護度別割合		
						要支援1,2	要介護1,2	要介護3～5
瀬波すみれ荘	22名	26名	7,169名	19.7名	364日	14.0%	59.2%	26.8%
さくら荘	22名	30名	7,509名	20.6名	365日	12.8%	61.6%	25.6%
きわなみ荘	18名	25名	5,459名	17.7名	309日	20.2%	46.3%	33.5%
新きわなみ荘	14名	27名	6,368名	20.5名	310日	17.1%	48.6%	34.3%
さわらび	24名	30名	7,165名	23.0名	311日	11.1%	60.7%	28.2%
長津	17名	27名	5,542名	17.8名	311日	16.3%	57.4%	26.3%
ゆり花荘	18名	25名	5,710名	18.5名	309日	26.0%	51.3%	22.7%
計	135名	190名	44,922名	137.8名		16.8%	55.0%	28.2%
前年度比	+4名	±0名	△2,562名	△7.3名		+1.3%	△2.4%	+1.1%

※職員数は令和3年3月31日現在の数値

・コロナ渦で利用の手控え、県外往来の影響等により、利用中止者数が増加し、利用者数が大幅に減少した。

・利用者数が大幅に減少したが、新型コロナウイルス感染症にかかる介護報酬の臨時的な取り扱いを実施したことにより、経営への影響を最小限にとどめた。

・ゆり花荘の地域密着型移行については、地域密着型定員(18人)を上回る利用状況であることや経営改善も図られていることから、移行はしなかった。

⑤ 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業

○居宅介護事業(ホームヘルプサービス事業)

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	10名	835回	840時間30分
あらかわ	5名	799回	746時間30分
かみはやし	3名	367回	385時間00分
あさひ	5名	968回	998時間45分
さんぽく	3名	278回	356時間00分
計	26名	3,247回	3,326時間45分
前年度比	△2名	+416回	+543時間30分

○同行援護事業(ホームヘルプサービス事業)

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	3名	71回	134時間00分
あらかわ	2名	26回	60時間00分
かみはやし	1名	1回	3時間00分
計	6名	98回	197時間00分
前年度比	+1名	+8回	△16時間00分

○行動援護事業(ホームヘルプサービス事業)

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	0名	—	—
前年度比	±0名	±0回	—

○重度訪問介護事業(ホームヘルプサービス事業) 今年度実績なし。

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
あさひ	0名	—	—
前年度比	△1名	△12回	△12時間30分

○村上市障害者移動支援事業(ホームヘルプサービス事業)

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	3名	29回	52時間30分
あさひ	0名	—	—
さんぼく	0名	—	—
計	3名	29回	52時間30分
前年度比	±0名	+21回	+28時間30分

○基準該当生活介護事業(デイサービスセンター事業)

事業所	実利用者数	年間延べ利用者数	月平均
ゆり花荘	2名	148名	12.3名
前年度比	△1名	△101名	△8.5名

(2) 人材確保

- ・居宅介護支援事業所では、中途退職者に対し、他事業所からの配置転換を行い、業務への影響を最小限にとどめた。
- ・訪問介護事業所では、準職員やパート職員の採用ができた。
- ・通所介護事業所と訪問入浴事業の介護員の兼務を行い、人材を有効に活用することができた。
- ・通所介護の介護員を他事業所との兼務を行い、人材を有効に活用することができた。
- ・通所介護事業所では、一日の利用者数に応じて介護職員の配置数を標準化した。設定した基準に合わせた介護職員数の配置に努めた。
- ・一時的に職員が不足している事業所に他事業所から職員を派遣し、通所介護事業所の安定した運営を行った。

(3) 経費節減への取組

- ・印刷物の経費を節減できるよう、必要に合わせて機種を使い分けたり、不要な紙を使用しないよう努めた。

・事業所内で、水道光熱費や燃料費の節約への意識を高めた結果、デイサービスセンター事業では水道光熱費が約200万円削減できた。

・新潟県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金を有効活用(交付限度額の96.8%)し、設備等の充実を図った。

(4) 在宅生活の継続のための支援

① 居宅介護支援事業

- ・利用者との信頼関係の構築に努め、在宅生活を継続していけるよう、サービス内容や種類を調整した。
- ・単身世帯や老世帯の利用者には、行政の他、区長・民生委員等地域住民との連携を図った。

② 訪問介護事業

- ・利用者の状態変化の把握に努め、体調に合わせて適正なサービスが提供されるよう、家族を含め居宅介護支援専門員との連携を図った。

③ 訪問入浴事業

- ・利用者へのサービス提供だけではなく、介護者に介護負担軽減のための提案等の援助を行った。

④ 通所介護事業

- ・利用者が在宅生活を継続していけるよう、適正なサービスを提供し、また、必要なサービスが受けられるよう、介護者・関係機関と連携をした。

(5) 介護保険外事業

① 市からの受託事業

○要介護認定調査受託事業(居宅介護支援事業)

事業所	年間調査 件数	月平均	事業所	年間調査 件数	月平均
むらかみ	22件	1.8件	あさひ	0件	—
あらかわ	49件	4.1件	さんぼく	0件	—
かみはやし	36件	3.0件	計	107件	8.9件
			前年度比	△17件	△1.4件

○介護予防支援受託事業(居宅介護支援事業)

事業所	年間取扱 件数	月平均	事業所	年間取扱 件数	月平均
むらかみ	31件	2.6件	あさひ	354件	29.5件
あらかわ	185件	15.4件	さんぼく	163件	13.6件
かみはやし	285件	23.8件	計	1,018件	84.8件
			前年度比	+43件	+3.5件

○介護予防ケアマネジメント受託事業(居宅介護支援事業)

事業所	年間取扱 件数	月平均	事業所	年間取扱 件数	月平均
むらかみ	60件	5.0件	あさひ	66件	5.5件
あらかわ	105件	8.8件	さんぼく	139件	11.6件
かみはやし	86件	7.2件	計	456件	38.0件
			前年度比	△21件	△1.8件

※総合事業の訪問介護・通所介護のみ利用する介護予防件数

○村上市在宅介護実態調査業務委託(居宅介護支援事業) ※令和2年度委託事業無し

事業所	取扱件数	事業所	取扱件数
むらかみ	—	あさひ	—
あらかわ	—	さんぼく	—
かみはやし	—	計	—
		前年度比	△230件

○軽度生活援助サービス(ホームヘルプサービス事業)

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	9名	430回	548時間30分
あらかわ	11名	470回	537時間30分
かみはやし	9名	599回	645時間30分
あさひ	1名	84回	125時間30分
さんぼく	1名	47回	47時間00分
計	31名	1,630回	1,904時間00分
前年度比	+1名	+220回	+367時間30分

○要介護老人安否確認事業(ホームヘルプサービス事業)

事業所	安否確認件数	救急キット確認件数	事業所	安否確認件数	救急キット確認件数
むらかみ	777件	—	あさひ	174件	—
あらかわ	213件	—	さんぼく	234件	—
かみはやし	94件	—	計	1,492件	—
			前年度比	+208件	±0件

○シルバーハウジング生活援助員派遣事業(ホームヘルプサービス事業)

事業所	年間派遣日数	年間派遣回数	月平均訪問世帯数
むらかみ	242日	2,904回	12.0世帯
前年度比	+2日	+239回	+0.9世帯

○ゆーとぴあむらかみ事業(ホームヘルプサービス事業)

事業所	年間派遣日数	年間派遣時間	月平均
むらかみ	34日	211時間00分	2.8日
前年度比	△3日	△49時間00分	△0.6日

○湯ったり塾事業

事業所	年間延参加者数	月平均
山北支所	319名	64名
前年度比	△522名	△6名

※コロナ禍のため11月～3月のみ開催。

② 自主事業

○介護保険外サービス(ホームヘルプサービス事業)

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	12名	86回	147時間30分
あらかわ	5名	9回	12時間00分
かみはやし	1名	1回	5時間00分
あさひ	2名	4回	11時間00分
さんぼく	1名	2回	1時間00分
計	21名	102回	176時間30分
前年度比	+3名	△61回	△35時間00分

○生きがいデイサービス(デイサービスセンター事業)

事業所	年間利用者数	月平均
瀬波すみれ荘	0名	—
さくら荘	11名	0.9名
計	11名	0.9名
前年度比	△70名	△5.9名

(6) 介護サービス事業等経営状況

① 居宅介護支援事業

(円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
むらかみ	4,390,418	△ 920,457	465,500	0	3,469,961
あらかわ	7,356,016	925,067	674,113	0	8,281,083
かみはやし	20,869,394	3,144,125	839,203	0	24,013,519
あさひ	45,034,662	4,217,405	133,475	0	49,252,067
さんぼく	△ 10,519,063	△ 1,870,958	952,188	0	△ 12,390,021
計	67,131,427	5,495,182	3,064,479	0	72,626,609

② ホームヘルプサービス事業(障害福祉サービス含)

(円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
むらかみ	3,080,462	873,596	4,198,356	0	3,954,058
あらかわ	25,968,684	△ 228,038	△ 139,037	0	25,740,646
かみはやし	△ 433,077	960,293	1,415,755	0	527,216
あさひ	15,403,488	521,299	383,327	0	15,924,787
さんぼく	△ 24,432,441	996,342	2,333,422	0	△ 23,436,099
計	19,587,116	3,123,492	8,191,823	0	22,710,608

③ 訪問入浴事業

(円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
むらかみ	18,295,141	929,695	△ 319,136	0	19,224,836
計	18,295,141	929,695	△ 319,136	0	19,224,836

④ デイサービスセンター事業(障害福祉サービス会)

(円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
瀬波すみれ荘	△ 12,853,211	△ 10,716,364	△ 8,746,247	0	△ 23,569,575
さくら荘	15,116,175	△ 870,501	388,649	0	14,245,674
おきなみ荘・新さくらみ荘	28,006,853	△ 4,096,751	1,264,801	0	23,910,102
さわらび	44,590,792	3,924,582	△ 6,852,392	0	48,515,374
長津	537,187	△ 5,057,987	△ 3,497,215	0	△ 4,520,800
ゆり花荘	△ 26,729,577	△ 4,620,343	9,296,026	0	△ 31,349,920
計	48,668,219	△ 21,437,364	△ 8,146,378	0	27,230,855

⑤ 総計

(円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
居宅介護支援	67,131,427	5,495,182	3,064,479	0	72,626,609
ホームヘルプ	19,587,116	3,123,492	8,191,823	0	22,710,608
訪問入浴	18,295,141	929,695	△ 319,136	0	19,224,836
デイサービス	48,668,219	△ 21,437,364	△ 8,146,378	0	27,230,855
計	153,681,903	△ 11,888,995	2,790,788	0	141,792,908

注1:「当年度の利益額」=「当期実績額B」+「(参考)拠出金」

【別表】

○ 各課 外部参加研修一覧

≪総務課関係≫

10月22日	令和2年度社協新任及び初級職員研修会(新潟市)
11月10日	令和2年度地域福祉推進セミナー(オンライン)
2月10日	令和2年度市町村社協事業継続計画(BCP)ガイドライン研修会(オンライン)

≪地域福祉課≫

6月17日	コロナ禍における地域福祉活動の情報共有会議(オンライン)
7月19日	フードバンクさんぼく設立総会(村上市)
9月7日	新潟県生活支援体制整備事業アドバイザー派遣モデル事業研修会
10月7日	新型コロナウイルス感染症拡大下における地域福祉活動実践報告会(オンライン)
10月16日	新型コロナウイルス感染症予防対応研修会(オンライン)
11月13日	多職種交流事業(村上市)
11月19日	介護予防講演会(村上市)
11月19日	県北地域社協災害ボランティア担当者打合せ会議(オンライン)
12月9日	県内社協連絡会(オンライン)
12月14日	権利擁護フォーラム「身寄りのない人の権利擁護を考える」(オンライン)
12月19日	フードバンクむらかみ設立総会(村上市)
12月24日	精神科救急連絡担当者会議兼自殺ハイリスク者事例検討会(村上市)
1月29日	地域福祉推進セミナー(オンライン)
2月9日	新潟県就職氷河期世代自立支援ネットワーク推進事業研修会(村上市)
2月10日	BPCガイドライン研修会(市町村社協災害ボランティア担当者会議)(オンライン)
2月25日	「地域共生社会」実現に向けた地域づくり強化のための研修会(オンライン)
3月12日	買い物支援セミナー(オンライン)
3月18日	精神保健福祉研修会(村上市)
〃	新潟県地域の茶の間交流会(オンライン)

3月23日	さわやか福祉財団主催 全国協働戦略会議(オンライン)
《生活支援課関係》	
(日常生活自立支援事業関係)	
6月30日	第1回契約締結審査会(オンライン)
7月16日	日常生活自立支援事業専門員ミーティング(オンライン)
8月4日	日常生活自立支援事業担当部課長会議(オンライン)
9月30日	第2回契約締結審査会(オンライン)
1月25日	生活支援員研修会(オンライン)
2月4日	日常生活自立支援事業専門員研修【基礎編】(オンライン)
2月22日	日常生活自立支援事業専門員研修【応用編】(オンライン)
3月5日	巡回訪問(オンライン)
(生活困窮者自立支援事業関係)	
5月	新発田村上地域生活保護受給者等自立促進事業協会(書面開催)
12月7日	家計改善相談支援事業従事者養成研修(オンライン)
1月5～6日	就労支援・就労準備支援事業従事者養成研修(オンライン)
1月15日	相談支援事業従事者養成研修(オンライン)
1月26～27日	関東・甲信越ブロック研修(オンライン)
2月9日	就職氷河期世代自立支援ネットワーク化推進事業研修会(村上市)
2月21日	若者支援セミナー(オンライン)
(成年後見制度関係)	
9月29日	成年後見制度市町村長申立推進研修会(オンライン)
10月15日	法人後見専門員スキルアップ研修(オンライン)
10月15日	法人後見実施団体等による意見交換会(オンライン)
10月17日	福祉関係者のための成年後見活用講座(ステップアップ編)(オンライン)
10月26日	成年後見制度担当者研修会(新潟市)
12月14日	権利擁護フォーラム(オンライン)
3月11日	福祉関係者が知っておきたい任意後見セミナー
(その他)	
11月13日	多職種交流事業(村上市)
12月19日	フードバンクむらかみ設立総会(村上市)
《介護事業課関係》	
(居宅介護支援)	
7月17日	令和2年度荒川地区介護支援専門員連絡会(村上市)
2月5日	
8月22日	ウイルス対応で見えた地域医療(村上市)
8月30日	新型コロナウイルス感染症に対応した避難開設訓練について・消火訓練(村上市)
9月8日～9日	令和2年度新潟県主任介護支援専門員研修(新潟市)
9月15日～17日	
10月5日～7日	
10月26日～27日	
11月4日	令和2年度村上地区地区介護支援専門員連絡会(村上市)
9月17日	
11月20日	
3月4日	認知症キャラバンメイト研修(新発田市)
9月18日	
10月16日	令和2年度新型コロナウイルス感染拡大下における地域福祉活動オンライン実践報告会

10月20日	令和2年度村上市・関川村介護支援専門員研修会（村上市）
11月11日	
11月10日	令和2年度新潟県主任介護支援専門員更新研修（新潟市）
12月9日～10日	
12月18日	
12月22日	
1月15日	
1月18日	
1月28日	
11月13日	令和2年度多職種・異業種交流研修会（村上市）
11月19日	令和2年度ときネット研修会（Zoom）
12月15日	ICT活用研修会（村上市）
1月15日	介護・相談従事者向け認知症ケア研修（Zoom）
2月2日～3日	介護施設等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する研修会

(訪問介護)

10月27日～28日	強度行動障害支援者養成研修（新潟市）
11月10日～11日	強度行動障害支援者養成研修（新潟市）
11月12日	拡大講演会 新型コロナウイルス感染症について（村上市）
11月16日～17日	強度行動障害支援者養成実践研修（新潟市）
11月16日～17日	同行援護従事者養成研修（新潟市）
11月24日	
11月30日	
11月20日	管理者向け研修（オンライン）
1月22日	令和2年度介護保険サービス事業所の集団指導(オンライン)
2月3日	介護施設等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する研修会

(訪問入浴)

11月12日	拡大講演会 新型コロナウイルス感染症について（村上市）
11月20日	管理者向け研修（オンライン）
11月27日	訪問入浴の全国の現状を学び他事業所との意見交換（オンライン）
12月18日	入浴の基本と感染症対策のポイント（オンライン）
3月19日	第57回全国入浴福祉大会（オンライン）

(通所介護)

9月30日	高齢者等保健福祉施設の感染症予防研修会（村上市）
11月5日	介護事業所リハビリ講習会（村上市）
11月10日	転倒災害防止研修会（新発田市）
11月12日	拡大講演会 新型コロナウイルス感染症について（村上市）
11月13日	令和2年度多職種・異業種交流研修会（村上市）
12月7日～11日	認知症介護実践者研修（三条市）
2月12日	
2月2日	介護施設等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する研修会
2月12日	令和2年度介護保険サービス事業所の集団指導(オンライン)